

開放的な テラスの ある家

サカウエ建築デザイン
坂上恒夫

Tsuneo Sakaue

長らく職住一体の住まいで暮らしていたSご夫妻。子育ても終わり、これからは夫婦と高齢のお母さまの3人でゆったりと過ごしたい…との想いを抱いて坂上さんに設計を依頼した。

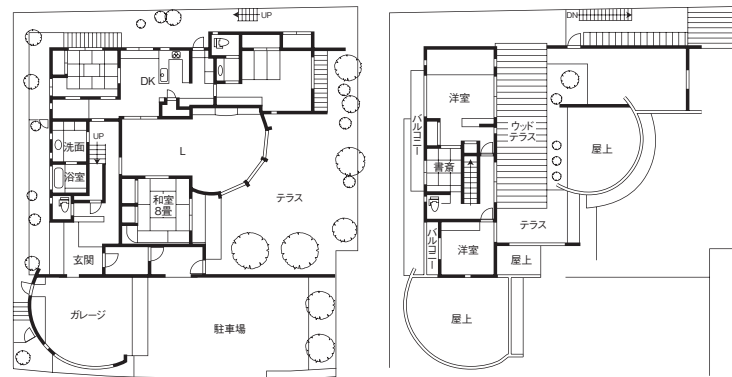
30畳の大空間リビングは、石貼りのテラスに向かって壁面がアールを描く、しゃれた造り。吹き抜けの高い天井に合わせて大開口部を設けているので、明るさと開放感を心ゆくまで味わえる。リビングとテラスのレベルがほぼ同じなので、上と外に向けて大きな広がりを感じさせるのも秀逸な工夫だ。ダイニングキッチンに隣接する和室は、邸宅全体の雰囲気に合わせてモダンで明るい空間とした。ここから見える和風の庭は、凜とした落ち着きを醸し出している。さらには洗面所からも庭を望むことができ、多忙なSご夫妻が家の中にいながら、日常的につくるような配慮している。鉄筋コンクリート造の建物でありながら、やさしさと癒しに満ちた建物となった。



- 1_自然光がシャワーのように降り注ぐ瀟洒な空間。ホテルライクなしつらえも贅沢だ。
- 2_太鼓障子で仕切られた和室と隣接するダイニングキッチン。ここにも光がたっぷり差し込んでくる。
- 3_石貼りのテラスとリビングの関係性。塀によりしっかりと囲っているため、外からの視線を気にせずにつくることができる。
- 4_デザインに丸やアール(曲線)を巧みに取り入れているので、鉄筋コンクリート造にありがちな冷たさや堅さを感じさせない。

開放的なテラスのある家

【家族構成】3人
 【敷地面積】598.35㎡(181.0坪)
 【延床面積】344.32㎡(104.2坪)
 【工 法】鉄筋コンクリート工法



1F

2F



施主さまが癒しを感じられる
贅沢でモダンな邸宅。

風の通り道と“空窓”のある家

サカウエ建築デザイン 坂上恒夫

Tsuneo Sakaue

坂上さんが設計したマンションに住んでいたSご夫妻は、そのデザインを気に入り、自宅の設計を坂上さんに依頼した。「家族の息づかいが感じられるレイアウト」で「自然素材をつかったナチュラルな空間」という要望に合わせて、1階はLDKと畳スペース、2階に寝室と子ども部屋をレイアウトした。

家族の中心となるLDKは吹き抜け天井により上への開放を演出。また掃き出し窓を通じてウッドデッキや庭へと出られるよう工夫した。この庭は板塀で囲んでプライバシーを守るように配慮している。また畳コーナーは、組み子の両面に障子紙を貼った“太鼓張り”の障子で独立させることも可能だ。階段上のフリーな場所には、家族で共有できるスタディコーナーを設けているのも特徴の一つ。この地域は夏場、昼は海から山、夜は山から海へと風が吹く。その風を邸内に取り込むべく、南北に効果的な開口部をとっている。

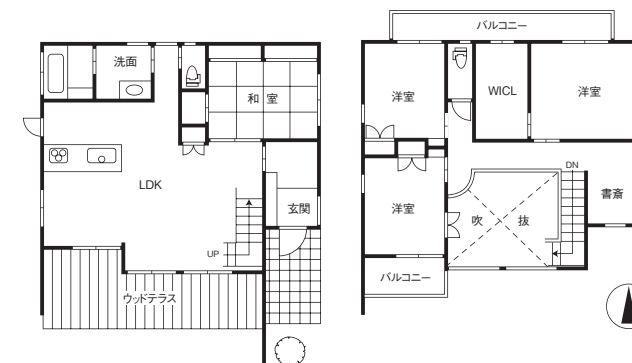


- 1 外断熱と天井扇により、吹き抜けの大空間でも心地よく過ごすことができる。
- 2 バーベキューやプール遊びなど、アウトドアリビング兼プレイスペースとして活用できる南側に位置するウッドデッキとガーデン。
- 3 対面キッチンやリビング階段など家族のコミュニケーションを何よりも大切にデザインを行った。
- 4 ファサードはガルバリウム鋼板と木でモダンな雰囲気。かつて施主さまが住んでいた坂上さんデザインのマンションに採用していたガラスブロックも取り入れた。



風の通り道と“空窓”のある家

【家族構成】4人
【敷地面積】238.49㎡(72.1坪)
【延床面積】120.44㎡(36.4坪)
【工 法】木造在来工法



家の中にいながら青空や星空を仰ぐ
癒しと開放に満ちた心地よい住まい。



Tsuneo Sakaue
坂上恒夫

サカウエ建築デザイン
〒799-0422
四国中央市中之庄町1120
TEL / 0896-23-2730
FAX / 0896-23-4125
mail / info@sakaue-design.com
営業 / am9:00~pm6:00
定休 / 土・日曜
URL / http://sakaue-design.com

●業務対応
注文住宅 リフォーム 店舗

●対応エリア
東予 中予 南予 県外

●プロフィール
さかうつねお
1956年四国中央市生まれ。79年近畿大学理工学部建築学科卒業。地元工務店、大手製紙会社を経て、90年㈱エノキ建築事務所入社。96年にサカウエ建築デザイン設立。

●プロセス
まず施主さまがどんな暮らしや住まいを求めているかをヒアリング。打合せとプランニングを重ねながら、家族の生活スタイルをシミュレーションするのが坂上さんのスタイル。「その際、現時点での住み心地だけではなく、この先のライフスタイルや生活像を想像します。お子さんが独立した後や老後への配慮など将来の家族設計に合わせ、間取りが変えられる柔軟な住まいをつくるのが理想」と坂上さん。こうした考えをベースに何案かのプラン(平面・断面計画)を提案。プランが固まった時点でベース(透視図)及び模型にて確認を行う。
その後、基本プランをもとに、敷地の調査や役所との打合せなどの事務作業から、施主さまの要望を暮らし目線でとらえながら住環境・構造・インテリア・外構にいたるまでのトータルプロデュースを担う。設備・構造を含めた詳細設計が完了したら、数社の施工業者から見積りを取り、よりコストをかけない家づくりに取り組む。工事中は図面通りに進んでいるかの監理をし、完成後は完成検査をして、問題がなければ引き渡し...という流れで進めていく。

●読者へのメッセージ
「建築家と一緒に家をつくる」というのは「自分たちだけのための心地よい空間をともに考え、生み出していこう」という楽しいジョブです。固定観念にとらわれない、本当の心地よさをともに作りましょう。

まとめて資料請求番号

No.17 見積設計無料

※巻末の「まとめて資料請求ハガキ」をご利用ください
※メールからの請求は「住まい情報 建てる」サイトから